

■ はじめに

キャノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。  
このリリースノートには、ESET PROTECT V8.0（以降、本製品と記載します）を正しくご利用頂くための情報が記載されています。  
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■ 本製品のコンポーネントについて

本製品を利用頂くためには、以下のコンポーネントをインストールする必要があります

- ・ ESET PROTECT Server（以降、EP サーバー）
- ・ ESET PROTECT Web Console（以降、EP Web コンソール）
- ・ ESET Management Agent（以下、EM エージェント）

次のサポートコンポーネントは必要に応じてインストールしてください。

- ・ Rogue Detection Sensor（以降、RD Sensor）
- ・ Mobile Device Connector（以降、MDC）

■ 本製品で利用可能なデータベースについて

本製品は、以下のデータベースをサポートしています。

- ・ Microsoft SQL Server 2012
- ・ Microsoft SQL Server 2014
- ・ Microsoft SQL Server 2016
- ・ Microsoft SQL Server 2017
- ・ Microsoft SQL Server 2019
- ・ MySQL 5.6
- ・ MySQL 5.7

- ・ MySQL 8.0

■ 本製品の EP Web コンソールで利用可能なブラウザについて

本製品の EP Web コンソールは以下のブラウザをサポートしています。Web ブラウザを常にアップデートすることを推奨します。

- ・ Microsoft Edge
- ・ Mozilla Firefox
- ・ Google Chrome
- ・ Safari
- ・ Opera

■ インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・ 本製品のオールインワンインストーラーを保存したフォルダーのパスに日本語が含まれている場合、インストールができません。パスに日本語が含まれないフォルダーに保存して実行してください。
- ・ 本製品は、日本語を含むユーザー名のユーザーでインストールすることはできません。
- ・ 本製品は V5 以前の ESET Remote Administrator と互換性がないため、V5 以前の ESET Remote Administrator からの上書きインストールには対応していません。
- ・ ESET Remote Administrator V6.2、V6.3 から本製品に直接アップグレードすることはできません。一度、ESET Remote Administrator V6.5 にアップグレードしてから、本製品にアップグレードしてください。
- ・ ESET Remote Administrator V6.5、ESET Security Management Center V7.0、V7.1、V7.2 からは、本製品に直接アップグレードすることができます。アップグレード前に、データベース等が本製品のサポート要件を満たしていることをご確認ください。詳細については、以下をご確認ください。

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/15515?site\\_domain=business#Attention](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/15515?site_domain=business#Attention)

- ・ 本製品は、以下のクライアント用プログラムを管理することはできません。
  - ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス V6.6 以下
  - ESET File Security for Microsoft Windows Server V6.5 以下
  - ESET Endpoint Security for OS X / ESET Endpoint アンチウイルス for OS X V6.7 以下
  - ESET NOD32 アンチウイルス for Mac V4.1
  - ESET NOD32 アンチウイルス for Linux Desktop V4.0
  - ESET File Security for Linux V4.5

本製品をアップグレードする前に、クライアント用プログラムを本製品で管理可能なバージョンにバージョンアップしてください。管理可能なバージョンについては、以下をご確認ください。

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/143?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/143?site_domain=business)

- ・ 本製品の各コンポーネントをインストールするサーバーに、それぞれ以下のプログラムがインストールされている必要があります。

EP サーバー (Windows 版)

- Microsoft .NET Framework 4 ※
- 本製品で利用可能なデータベース

※サーバーマネージャーの機能の追加よりインストールしてください。

EP サーバー (Linux 版)

- openssl 1.0.1e-30 以上
- mysql-connector-odbc 5.3.10、8.0.17 ※
- qtwebkit 2.0.X または 2.3.4 以上
- xorg-x11-server-Xvfb
- cifs-utils
- krb5-workstation
- samba
- samba-winbind-clients
- openldap-clients
- cyrus-sasl-gssapi
- cyrus-sasl-ldap
- net-snmp-utils
- policycoreutils-devel

- 日本語フォント(任意の Linux 用日本語フォント)
  - 本製品で利用可能なデータベース
- ※SUSE 11 の場合は unixODBC\_23 を使用してください。

EP Web コンソール (Windows 版)

- Java 8、11 64bit
- Apache Tomcat 9 64bit

EP Web コンソール (Linux 版)

- Java 8、11 64bit
- Apache Tomcat 7、9 64bit

RD Sensor (Windows 版)

- WinPcap 4.1.0 以上

MDC (Windows 版)

- Microsoft .NET Framework 4 ※
  - 本製品で利用可能なデータベース
- ※サーバーマネージャーの機能の追加よりインストールしてください。

MDC (Linux 版)

- openssl 1.0.1e-30 以上
  - mysql-connector-odbc 5.3.10、8.0.17 ※
  - 本製品で利用可能なデータベース
- ※SUSE 11 の場合は unixODBC\_23 を使用してください。

EM エージェント (Linux 版)

- openssl 1.0.1e-30 以上

■ 製品マニュアルについて

本製品のマニュアルにはオンラインヘルプとオンラインヘルプ補足資料があります。

はじめにオンラインヘルプ補足資料を確認してください。

オンラインヘルプ補足資料は「ユーザーズサイト」よりダウンロードすることが出来ます。

ユーザーズサイト

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>

オンラインヘルプ（インストール/アップグレード）

[https://help.eset.com/protect\\_install/80/ja-JP/](https://help.eset.com/protect_install/80/ja-JP/)

オンラインヘルプ（管理）

[https://help.eset.com/protect\\_admin/80/ja-JP/](https://help.eset.com/protect_admin/80/ja-JP/)

■ 使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容を確認してください。

- 本製品にアップグレード後、MDC に以下のエラーが表示される場合があります。

HTTPS 証明書は Apple で必要な条件を満たしていません

本エラーが表示された場合は、以下の手順で証明書の再割り当てを行ってください。※

1. 本製品の証明書画面にて、MDC 用のピア証明書を作成
2. MDC 用のポリシーの HTTPS 証明書項目に、上記の証明書を設定
3. 上記ポリシーを MDC がインストールされているサーバーに適用

※既定の設定では、IP アドレスをホストに設定した証明書を割り当てることができません。

これは、iOS13 以降の接続要件として、IP アドレスではなく FQDN を指定する必要があるためです。

iOS13 以降を使用しない場合、事前に MDC 用のポリシーで「iOS 関連アプリケーションステータスの送信」を無効にすることで、IP アドレスをホストに設定した証明書を割り当て可能になります。

- オールインワンインストーラー作成時に HTTP プロキシ設定をせず、オフライン状態のクライアントでオールインワンインストーラーを実行すると、HTTP プロキシの設定を促すダイアログが表示される。

EP Web コンソールよりオールインワンインストーラーを作成する際、「詳細」セクションより HTTP プロキシを設定しないで作成したオールインワンインストーラーをオフライン環境のクライアントで実行した際、プロキシ設定要求(IP、ポート、ユーザ/パスワード)のダイアログが表示されインストールが一時停止する事象を確認しております。

この事象はオフライン環境かつインストーラを手動で実行した場合でのみ発生する事象のため、オンライン環境やリモート展開では影響を受けません。

- 本製品のオールインワンインストーラーを用いてアップグレードした場合は、OSの再起動を行ってください。

#### ■ 既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

最新の情報につきましては弊社製品ホームページの Q&A をご確認ください。

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>

プログラムの変更点について

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/2293?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/2293?site_domain=business)

- ESET Security Management Center 7.2 からコンポーネントのアップグレードタスクでバージョンアップするとタスクの実行の結果が失敗になる現象について

ESET Management Agent 7.2 から EM Agent 8.0 へコンポーネントのアップグレードタスクを用いてバージョンアップすると、バージョンアップが成功していてもタスクの実行の結果が失敗になる現象を確認しております。

ESET Security Management Center 7.2 のサーバー自体をコンポーネントのアップグレードタスクを用いてバージョンアップする場合も同様にタスクの実行結果は

失敗になります。

タスクの結果が失敗でも EM Agent 8.0 へ正常にバージョンアップされることを確認しています。

実際にバージョンアップが成功したかはインストール済みアプリケーションで表示されるバージョンから判断してください。

- ESET Enterprise Inspector（以降、EEI）との連携時、監査ログに余分な表示される現象について

EEI との連携時、監査ログに大量の Administrator ログアウトが表示される現象を確認しています。

- スケジュールを利用してレポートを保存する場合、レポート名に特殊文字が含まれると正常にレポートが保存されない現象について

スケジュールを利用してレポートを保存する場合、レポート名に特殊文字 (;\* < > | / ¥ ?) が含まれるとレポートが正常に保存されない事象を確認しております。

スケジュールを利用してレポートを保存する場合、レポート名に特殊文字を利用しないでください。

## ■ 製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/business/>

ユーザーズサイト：

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>

オンラインヘルプ（インストール/アップグレード）

[https://help.eset.com/protect\\_install/80/ja-JP/](https://help.eset.com/protect_install/80/ja-JP/)

オンラインヘルプ（管理）

[https://help.eset.com/protect\\_admin/80/ja-JP/](https://help.eset.com/protect_admin/80/ja-JP/)